

一般社団法人 日本薬学教育学会 第1回理事会 議事録

開催日時：令和6年7月31日（水）10：00～12：37

開催場所：WEB会議システム（ZOOM）による開催

理事：乾 賢一、中村 明弘、有田 悦子、石川 さと子、木内 祐二、小佐野 博史、
鈴木 匡、高橋 一栄、武田 香陽子、長谷川 洋一、平田 収正、三浦 典子、
山田 成樹

監事：林 正弘

委員長：木下 淳

<欠席>：入江 徹美（理事）、松浦 正佳（理事）、亀井 美和子（監事）

事務局：横川 和代

議事に先立ち、定款第35条第2項に基づき、議事録には乾理事長、林監事が署名又は記名押印することが確認された。

議事：

1. 前回理事会議事録案について（承認事項）
中村副理事長より2023年度第5回理事会の議事録（案）に基づいて議事の概要が報告され、一部修正の上、議事録として承認された。
2. 2023年度事業報告について（協議事項）
事務局より2023年度事業報告書が資料に基づいて説明され、変更があれば8月5日までに事務局に連絡することとした。
3. 2023年度決算報告について（協議事項）
財務担当の長谷川理事より2023年度決算が資料に基づいて報告された。収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録および監査報告書を社員総会の資料とすることが承認された。事務局からは林監事と亀井監事による監査の予定が紹介された。
4. 2024年度事業計画（案）について（協議事項）
事務局より2024年度事業計画（案）が資料に基づいて説明され、社員総会に向けて追加修正等があれば8月5日までに事務局に連絡するよう依頼された。
5. 2024年度収支予算（案）について（協議事項）
長谷川理事より2024年度収支予算（案）が資料に基づいて説明された。支出超過の予算となっているが、次年度以降は収支均衡の予算を目指すこととした。財務担当理事を中心に事業計画との整合性を確認し、変更が必要であれば8月5日までに事務局に連絡するよう依頼された。
6. 第9回総会の議事案件・シナリオについて（協議事項）
事務局より8月18日（日）に開催する2024年度定時社員総会の議事案件とシナリオ案が資料に基づいて紹介された。社員総会は途中で中断せずに進行し、総会終了後に新役員による理事会を開催することとした。
会員には本日メール配信にて定時社員総会の開催案内を送付し、出欠登録は8月9日（木）を締切とする。
7. 役員選挙開票結果報告・非選挙理事の推薦について（報告事項）
事務局より理事・監事選挙の結果が報告された。選挙結果は選挙管理委員会で確認し、会員にも報告済みである。非選挙理事については、日本薬剤師会から長津雅則氏、日本病院薬剤師会から奥田真弘氏が推薦されたことが報告された。理事候補者および監事候補者は定時社員総会で承認を受けて選任される。

8. 第9回大会の準備状況について（報告事項）

三浦理事より第9回大会の準備状況が資料に基づいて報告された。特別講演2件、学会賞受賞講演1件、シンポジウム20件、ワークショップ9件、一般演題104題となっている。開会式では文部科学省と厚生労働省から挨拶をいただくことになっている。
ワークショップの参加募集と参加登録について改めて会員にメールで周知することとした。
9. 第10回大会の大会長の選任について（協議事項）

2025年度第10回大会開催校である帝京平成大学の亀井美和子 薬学部長を大会長として選任し、社員総会に諮ることとした。
10. 第10回大会の準備状況について（報告事項）

第10回大会は2025年8月23日（土）・24日（日）に帝京平成大学中野キャンパスで開催されることが確認された。
11. 第11回大会開催校について（協議事項）

乾理事長より2026年度の第11回大会の開催校として大阪医科薬科大学薬学部が提案され、承認された。
12. 委員会報告（報告事項）
 - ・ 編集委員会
有田理事より資料に基づいて「薬学教育」のJ STAGE 公開状況と論文投稿・審査状況が報告された。
 - ・ 薬学教育カリキュラム検討委員会
5月29日（水）に第2回委員会が開催され、小佐野理事が委員長に就任したことが報告された。小佐野委員長より、委員会の当初の活動内容は「6年制薬学部の目的の周知」、「薬学教育の構造上の問題」、「今までの教育成果等の検証」、「コアカリ改訂後の各大学の問題点」、「今後のコアカリ改訂に向けての準備」に集約し、第9回大会において2件の委員会企画シンポジウムを開催することが報告された。
 - ・ 倫理教育委員会
有田委員長より第9回大会において委員会企画シンポジウムを開催することが資料に基づいて報告された。
 - ・ 国際化委員会
武田委員長より学会誌「薬学教育」への投稿および科研費申請について検討している旨が資料に基づいて報告された。
 - ・ 中長期ビジョンワーキンググループ
武田理事より本学会のミッション・ビジョンを新役員で検討するワークショップを企画していることが紹介された。また、6月22日に帝京平成大学中野キャンパスで開催された第2回ワークショップの概要が資料に基づいて報告された。ワークショップのプロダクトの取扱いについて意見交換を行い、プロダクトの活かし方（ホームページでの公開等）について引き続き中長期ビジョンワーキンググループで検討することとした。
 - ・ ICT教育委員会
木下委員長より第9回大会において委員会企画シンポジウムを開催することが資料に基づいて報告された。

13. 担当理事報告（報告事項）

・ 広報担当

石川理事より広報活動について資料に基づいて報告された。各委員会のホームページを充実していくための協力依頼がなされた。

14. 理事長の職務執行状況および理事長報告（報告事項）

（1）日本薬系学会連合について

乾理事長より日本薬系学会連合の活動について資料に基づいて報告された。

生物科学学会連合などが中心となって提案する「科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書」に日本薬系学会連合が賛同することを受けて、本学会も同要望に賛同し、その旨を会員にメールで知らせることとした。なお、署名活動への参加は各会員の判断に任せることとした。

（2）Asian Association of Schools of Pharmacy(AASP) 2025 カンファレンスについて

乾理事長から AASP2025 カンファレンスについて紹介された。

15. 会員登録状況報告（報告事項）

事務局より資料に基づいて 2024 年 7 月 29 日時点の会員数の増減・会費納入状況が報告された。個人会員は 788 名で 2024 年度の会費納入率は 66.3%、学生会員は 61 名で会費納入率は 18%、機関会員は 67 件で会費納入率 98.4%、賛助会員は 7 件で会費納入率 71.4%であった。会員数は全 923 件で、会員数は 5 月 2 日時点より 36 件増加した。

16. その他

- ・ 大会開催校が準備を円滑に進めるためのマニュアルの整備が提案され、総務担当理事が中心となって大会準備マニュアルを作成することとした。
- ・ 8 月 18 日の社員総会終了時に退任する理事および監事から挨拶が行われた。
- ・ 次回新理事会の開催について：8 月 18 日（水）定時社員総会后

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2024 年 7 月 31 日

一般社団法人 日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監 事 林 正弘